

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成17年11月10日(2005.11.10)

【公開番号】特開2000-300758(P2000-300758A)
【公開日】平成12年10月31日(2000.10.31)
【出願番号】特願平11-116003
【国際特許分類第7版】
A 6 3 F 7/02
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】
【提出日】平成17年9月20日(2005.9.20)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の始動条件に基づいて、変動可能な複数の図柄の表示状態を表示する可変表示手段と、該複数の図柄の表示結果が予め定められた当選停止態様で停止すると当たりとなる図柄合わせゲーム実行手段を有する遊技機において、

該遊技機の制御部は、あと1つ所定の図柄が揃うと前記当選停止態様になるリーチ状態の出現を予告するリーチ予告手段を有し、該リーチ予告手段は、前記図柄合わせゲームの実行結果として前記リーチ状態を経由しない外れの状態を所定の出現パターン遷移規則に従って複数回連続出現させることで、前記リーチ状態が近く出現することを遊技者に予告することを特徴とする遊技機。

【請求項2】

所定の始動条件に基づいて、変動可能な複数の図柄の表示状態を表示する可変表示手段と、該複数の図柄の表示結果が予め定められた当選停止態様で停止すると当たりとなる図柄合わせゲーム実行手段を有する遊技機において、

該遊技機の制御部は、当たりの出現を予告する当選予告手段を有し、該当選予告手段は、所定の出現パターン遷移規則に従って外れの状態を複数回連続出現させることで、前記当たり状態が近く出現することを遊技者に予告することを特徴とする遊技機。

【請求項3】

所定の始動条件に基づいて、変動可能な複数の図柄の表示状態を表示する可変表示手段と、該複数の図柄の表示結果が予め定められた当選停止態様で停止すると当たりとなる図柄合わせゲーム実行手段を有する遊技機において、

該遊技機の制御部は、あと1つ所定の図柄が揃うと前記当選停止態様になるリーチ状態の出現を予告するリーチ予告手段と、前記当たりの出現を予告する当選予告手段とを含み、

前記リーチ予告手段は、前記図柄合わせゲームの実行結果として前記リーチ状態を経由しない外れの状態を所定の出現パターン遷移規則に従って複数回連続出現させることで、前記リーチ状態が近く出現することを遊技者に予告するとともに、

前記当選予告手段は、所定の出現パターン遷移規則に従って外れの状態を複数回連続出現させることで、前記当たり状態が近く出現することを遊技者に予告することを特徴とする遊技機。

【請求項4】

前記図柄合わせゲーム実行手段は、前記予告が行われたときその予告内容に従う実行結果を必ず出現させることを特徴とする請求項 1、2 または 3 に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記予告に用いる図柄は、絵柄部分と文字部分とを組合わせた複合図柄であることを特徴とする請求項 1、2、3 または 4 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、このような従来の技術が有する問題点に着目してなされたもので、遊技者の当たり等に対する期待感を従来よりも長い時間をかけて徐々に喚起することができるとともに、その期待感を裏切らない遊技機および当たりの出現パターンが変化に富む遊技機を提供することを目的としている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【課題を解決するための手段】

かかる目的を達成するための本発明の要旨とするところは、次の各項の発明に存する。

[1] 所定の始動条件に基づいて、変動可能な複数の図柄の表示状態を表示する可変表示手段(30)と、該複数の図柄の表示結果が予め定められた当選停止態様で停止すると当たりとなる図柄合わせゲーム実行手段(110)を有する遊技機(10)において、

該遊技機(10)の制御部(100)は、あと1つ所定の図柄が揃うと前記当選停止態様になるリーチ状態の出現を予告するリーチ予告手段(120)を有し、該リーチ予告手段(120)は、前記図柄合わせゲームの実行結果として前記リーチ状態を経由しない外れの状態を所定の出現パターン遷移規則に従って複数回連続出現させることで、前記リーチ状態が近く出現することを遊技者に予告することを特徴とする遊技機(10)。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

[2] 所定の始動条件に基づいて、変動可能な複数の図柄の表示状態を表示する可変表示手段(30)と、該複数の図柄の表示結果が予め定められた当選停止態様で停止すると当たりとなる図柄合わせゲーム実行手段(110)を有する遊技機(10)において、

該遊技機(10)の制御部(100)は、当たりの出現を予告する当選予告手段(130)を有し、該当選予告手段(130)は、所定の出現パターン遷移規則に従って外れの状態を複数回連続出現させることで、前記当たり状態が近く出現することを遊技者に予告することを特徴とする遊技機(10)。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

[3] 所定の始動条件に基づいて、変動可能な複数の図柄の表示状態を表示する可変表示手段(3 0)と、該複数の図柄の表示結果が予め定められた当選停止態様で停止すると当たりとなる図柄合わせゲーム実行手段(1 1 0)を有する遊技機(1 0)において、

該遊技機(1 0)の制御部(1 0 0)は、あと1つ所定の図柄が揃うと前記当選停止態様になるリーチ状態の出現を予告するリーチ予告手段(1 2 0)と、前記当たりの出現を予告する当選予告手段(1 3 0)とを含み、

前記リーチ予告手段(1 2 0)は、前記図柄合わせゲームの実行結果として前記リーチ状態を経由しない外れの状態を所定の出現パターン遷移規則に従って複数回連続出現させることで、前記リーチ状態が近く出現することを遊技者に予告するとともに、

前記当選予告手段(1 3 0)は、所定の出現パターン遷移規則に従って外れの状態を複数回連続出現させることで、前記当たり状態が近く出現することを遊技者に予告することを特徴とする遊技機(1 0)。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

このようにリーチ状態の出現を予告し、さらにそのリーチ状態の出現態様の遷移によって当たりの出現を予告するので、遊技者の当たりへの期待感を長い時間をかけて徐々に喚起することができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 6】

【発明の効果】

本発明にかかるに遊技機によれば、図柄合わせゲームの実行結果が複数回にわたってどのように遷移するかによってリーチ状態や当たりの出現を遊技者に予告するので、遊技者の当たり等に対する期待感を長い時間をかけて徐々に喚起することができる。また、当たりの出現時期が近づいているにもかかわらず遊技者が遊技を途中でやめてしまうような事態を防止することができる。